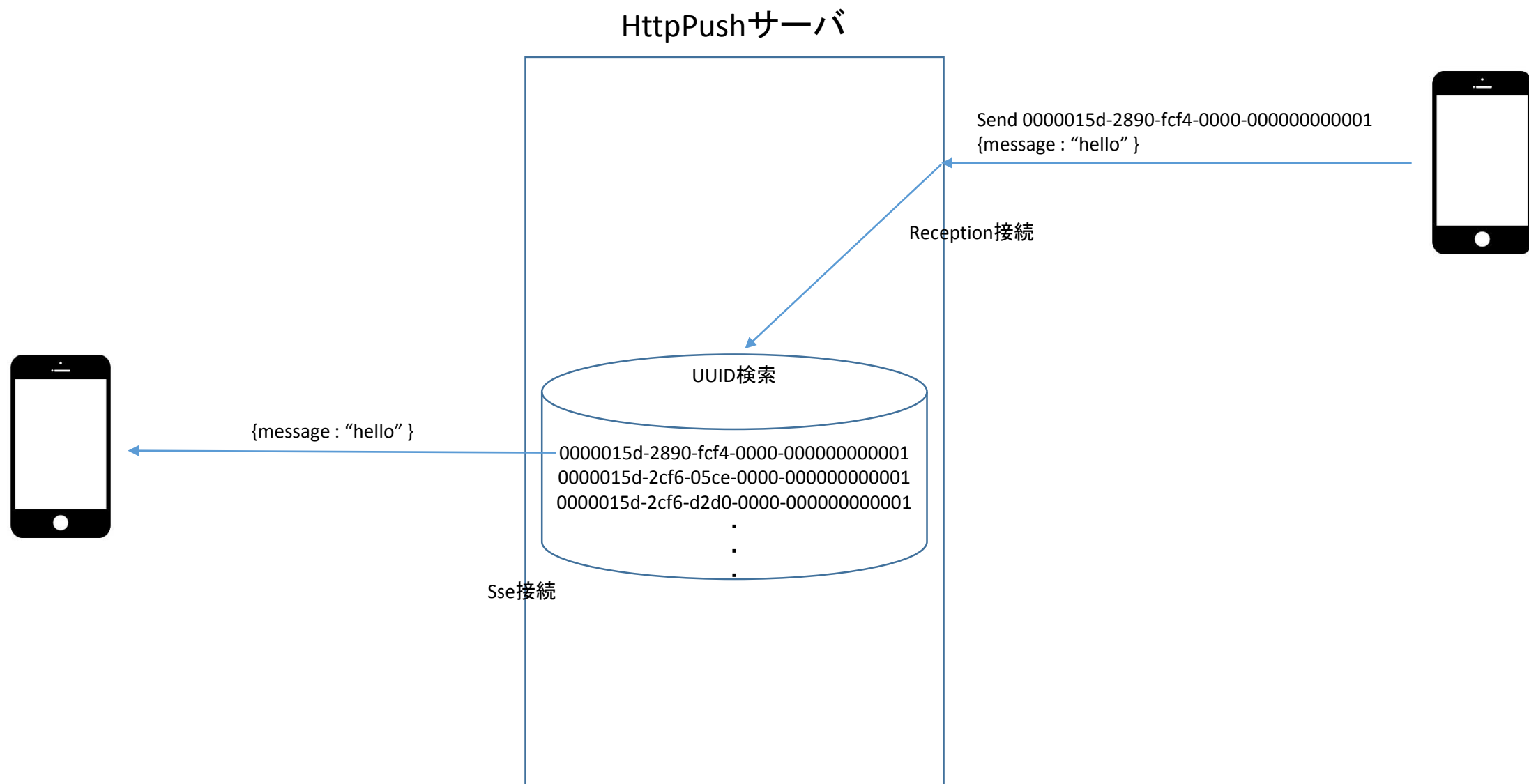


HttpPush

リアルタイムHttp／Pushデータ配信サービス

構成



機能

- 1)リアルタイム受信待ち(SSE接続部)を行う
- 2)リアルタイムデータ受付(Reception接続部)にデータ送信を行う
- 3)CORS対応

項2に対して、データ送信を行うことで、項1でSSE(ServerSentEvent)受信待ちに対して、リアルタイムデータ受信が行える。

SSE(ServerSentEvent)機能を用いて実装しているので、ブラウザがサポートしている場合は、通常のHTTPプロトコルと同じく利用できる。

詳細

- 単一でシーケンシャルなUUIDを発行し、そのUUID同士で、ReceptionとSSEの接続を行う。
- Receptionで受け付けたデータはQueueで管理しているので、確実にSSE受信側に送信できる。
(ただし、サーバが定めるExpire値を超える場合、データロストする)

利用想定

- ・リアルタイムなデータPushが必要なシステム。
- ・現在のバージョン(1. 0. 0)ではグループ配信機能は無いので、グループチャットなどには、向いていない。
- ・逆に1対1のチャットシステムのようなものには向いている。

問題点・課題

- receptionとsseとの接続に対して、セキュリティが無い。問題としてはUUIDが分かれば、誰でも接続できてしまう。
- Clientが切断された時に、再接続しない。
- 複数台HttpPushサーバを起動しても、スケールしない。